

西南学院大学の教育活動における生成 AI 利用ガイドライン

1. 目的

本学の学部及び大学院における教育活動において、急速に進展する生成 AI を適切に利用するために、教育的倫理、学修成果の質の担保、著作権・個人情報保護の観点から、教員及び学生（以下、「利用者」という。）による生成 AI の利用に一定の原則と判断基準を示すことを目的として、西南学院大学の教育活動における生成 AI 利用ガイドライン（以下、「本ガイドライン」という。）を定める。

2. 生成 AI

生成 AI*¹（以下、「AI」という。）とは、自然言語*²、画像、音声、プログラム言語などの多様な形式の内容とともに、利用者が入力すること（指示・プロンプト*³）で、自動的に生成物を出力する人工知能技術を指す。

3. 教育活動における AI の利用方針

本学の教育活動においては、AI を利用することができる。その際、利用者は、AI が生成する内容の正確性・適切性・妥当性を最終的に確認・判断する必要があり、その責任は利用者自身であることに留意する。加えて、4. AI の利用における留意事項の内容を併せて確認し、AI を利用するものとする。

3.1 教員の教育活動における AI の利用の考え方

- (1) 教員は、シラバス、授業資料、課題等の作成に際し、AI を補助的に利用することができる。
- (2) 教員は、授業運営において、学生の学修状況の管理及び評価に際し、AI を補助的に利用することができる。なお、課題等の採点に際し、AI の判定結果を参照する場合、その判定結果について、自身でも確認する。
- (3) 教員は、AI が生成する内容をそのまま使用するのではなく、教育目的や学生の学修状況に応じて、自身で適切に編集・調整する。
- (4) 教員は、学生が取り組む課題や試験における AI の学生の利用可否について、授業を通じて明確にし、学生に共有する。
- (5) 教員は、学生の AI の利用を認める場合、利用範囲と申告方法（例：どの部分に AI を利用したかの明記方法）をあらかじめ指定する。
- (6) 教員は、学生に対し、AI を利用した学修方法（要約、説明文の作成等）を紹介する場合、4. AI の利用における留意事項の内容について十分に説明する。
- (7) 教員は、AI の利用に際し、学生の主体的学びや批判的思考力、表現力や創造力を損なわないよう留意する。

- (8) 教員は、学生が教員の指示に従わない AI の利用の事実を確認した場合、不正に AI を利用したものとして扱い、相応の評価を行うことができる。
- (9) 教員は、学生が AI を利用した成果物を学生の学修成果とすることの是非について、授業の到達目標に照らし、慎重に判断する。
- (10) 教員は、学生が AI を利用することによって適正な評価が困難となる場合、別途、対面での確認や追加課題等の措置を検討する。

3.2 学生の学修活動における AI の利用の考え方

- (1) 学生は、AI を利用する際、4. AI の利用における留意事項の内容を熟読する。
- (2) 学生は、教員が AI の利用を認めている履修科目において、教員が指定する範囲及び方法を超える AI の利用を行った場合、不正に AI を利用したものとして扱われ、相応の評価がなされることに留意する。

4. AI の利用における留意事項

4.1 AI が生成する内容に関する留意事項

- (1) 利用者は、AI が生成する内容には以下のリスクが伴うことを認識する。
 - ① ハルシネーション*4が生じ、誤情報が含まれる可能性がある。
 - ② プロンプト*3の内容により、誤情報が含まれる可能性や、質が担保できない可能性がある。
 - ③ バイアス*5が生じ、特定の思想や文化背景の影響を色濃く受け、客観性を欠く可能性がある。
- (2) 利用者は、AI が生成する内容について、思考停止*6にならず、参考情報に留まるものとして認識する。
- (3) 利用者は、AI が生成する内容のファクトチェック*7について、責任を持って行う。

4.2 法的留意事項

- (1) 利用者は、AI に個人情報*8を入力してはならない。
- (2) 利用者は、AI に機密性の高い情報を入力してはならない（以下の例示を参照のこと）。

学生の成績・健康・相談情報、未発表の研究データ、人事資料（人事計画等）、契約・提携先との非公開合意事項 等
- (3) 利用者は、AI に、プライバシー*9に関する内容を入力してはならない。
- (4) 利用者は、AI に、著作権者の許諾なく、他者の著作物*10（書籍、論文、画像等）を入力してはならない。
- (5) 利用者は、AI に入力する情報に、他者の著作物等の知的財産*11を含める場合、著作権*12等、知的財産権*13の侵害とならないよう留意する。
- (6) 利用者は、AI に入力する情報に、教育資料、未公開資料、共同成果物を含める場合、著作権者の許諾を得ることやそれら資料の取り扱い基準を確認する。

- (7) 利用者は、AIに入力する情報に、編集・改変・翻訳した他者の著作物を含める場合、著作権人格権*14侵害とならないよう留意する。
- (8) 利用者は、AIが生成する内容には、第三者の著作物が含まれている可能性があり、AIが生成する内容をそのまま無断で使用する場合、剽窃・盗用等の著作権侵害として罰則の対象となる可能性があることに留意する。
- (9) 利用者は、AIの利用目的に応じ、AIが生成する内容について、人間による創作的な関与がある著作物として認められる可能性があることに留意する。
- (10) 利用者は、AIを利用し、他者へ危害を加える行為や公序良俗に反する行為を取ってはならない。
- (11) 利用者は、利用するAIのサービス提供元の利用規約やライセンス条件等に留意する。
- (12) 利用者は、利用するAIにおいて、オプトアウト*15設定が可能な場合は、オプトアウトに設定する。
- (13) 学生は、AIの利用に際し、個人情報保護法及び著作権法並びに知的財産基本法に留意する。
- (14) 教員は、AIの利用に際し、個人情報保護法及び著作権法並びに知的財産基本法に加え、「西南学院個人情報保護規程」、「西南学院特定個人情報に関する取扱規程」に留意する。

5. 本ガイドラインの更新と周知

- (1) 本ガイドラインは、技術の進展や社会的要請を踏まえて定期的に見直しを図る。
- (2) 利用者を対象とする研修や共有会を通じ、AIに関する知識と利用スキルの向上を図る。
- (3) 本ガイドラインは、教学マネジメント委員会が所管する。

用語解説

- 1) 生成AI：人間の入力に応じて自動生成する人工技能技術の総称を指す。大規模なデータを学習したモデルを用いる。具体的には ChatGPT(Open AI)、Claude(Anthropic)、Gemini(Google)、Copilot(Microsoft)等が挙げられる。
- 2) 自然言語：人間が日常的に使用する日本語・英語等の自然発生的な言語を指す。プログラミング言語や記号言語等の人工的に設計された言語とは区別する。
- 3) プロンプト (prompt)：AIに対して入力する質問・指示文を指す。
- 4) ハルシネーション (hallucination)：もっともらしく見えるが、誤った情報や実在しない内容をAIが生成する現象を指す。
- 5) バイアス (bias)：直訳では偏見を意味し、AIの利用においては、AIがそれまでに学習したデータに依拠して生成物を出力するために生じる偏りを指す。
- 6) 思考停止：AIが生成する内容について、正確性・適切性・妥当性等の確認を行わず、利用者が自らの判断や検討を省略して受け入れる状態を指す。
- 7) ファクトチェック：文章や発言等に含まれる事実関係の正確性を、信頼できる情報源や資料を用いて確認する行為を指す。AIが生成する内容には誤情報や不正確な情報

が含まれる可能性があるため、AIが生成する内容を利用する前にファクトチェックを行うことが推奨される。

- 8) 個人情報：生存する個人に関する情報で、氏名、生年月日、住所、顔写真等により、特定の個人を識別することができるものを指す。また、他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の個人を識別することができるものも含む（個人情報の保護に関する法律第二条）。なお、本学にあつては在学番号と氏名の両方が明示される場合、それらは個人情報となる（在学番号のみは個人情報と見做さない）。
- 9) プライバシー：個人の氏名・連絡先・思想信条・病歴等、個人を特定できる情報のうち、本人が公開を望まない情報を含む、人格的利益に関わる情報全般を指す。また、他人から干渉されずに私生活上の事柄をコントロールすることも指す。
- 10) 著作物：思想又は感情を創作的に表現したものであって、文学、学術、美術又は音楽の範囲に属するものを指す（著作権法第二条第一項）。
- 11) 知的財産：発明、考案、植物の新品種、意匠、著作物その他の人間の創造的活動により生み出されるもの、商標、商号その他事業活動に用いられる商品又は役務を表示するもの及び営業秘密その他の事業活動に有用な技術上又は営業上の情報を指す（知的財産基本法第二条第一項）。
- 12) 著作権：著作物を利用する権利を指す（著作権法第十七条）。
- 13) 知的財産権：特許権、実用新案権、育成者権、意匠権、著作権、商標権その他の知的財産に関して法令により定められた権利又は法律上保護される利益に係る権利を指す（知的財産基本法第二条第二項）。
- 14) 著作者人格権：著作者としての人格的な利益を守る権利を指す（著作権法第十七条）。
- 15) オプトアウト（opt-out）：AIに入力した情報が、AIの学習に利用されないようにする機能を指す。AIの学習に利用されることで、他者がAIを利用する際にAIが生成する内容に自身の入力した内容が含まれる可能性があり、公開情報と同等の状況となる。

制定及び施行 2025 年 10 月 21 日

Guidelines for the Use of Generative AI in Teaching and Learning at Seinan Gakuin University

1. Purpose

These Guidelines for the Use of Generative AI in Teaching and Learning (hereinafter referred to as “the Guidelines”) are established to set forth certain principles and criteria for the appropriate use of rapidly advancing generative AI technologies in the educational activities of undergraduate and graduate programs at Seinan Gakuin University.

The purpose of the Guidelines is to ensure academic integrity, the assurance of learning outcomes, and the protection of intellectual property and personal information by providing faculty members and students (hereinafter, “Users”) with fundamental principles and criteria for responsible use of generative AI.

2. Definition of Generative AI

Generative AI (*1) (hereinafter referred to as “AI”) refers to artificial intelligence technologies that automatically generate outputs in various forms—such as natural language (*2), images, audio, or programming languages—based on User input (instructions or prompts *3).

3. Policy for the Use of AI in Educational Activities

At this University, the use of AI in educational activities is permitted.

When using AI, Users bear ultimate responsibility for verifying the accuracy, relevance, and validity of AI-generated content, and for making final judgments on its suitability.

In addition, Users shall review and comply with the provisions set out in *Section 4: Precautions in the Use of AI*.

3.1 Faculty Use of AI in Educational Activities

- (1) Faculty members may use AI as a supplementary tool when preparing syllabi, teaching materials, and assignments.
- (2) Faculty members may use AI as a supplementary tool in class management, including monitoring and assessing students’ learning progress.
When referencing AI-based evaluation results, they must personally verify such results.
- (3) Faculty members shall not use AI-generated content verbatim but must edit or adjust it appropriately in accordance with educational objectives and students’ learning situations.
- (4) Faculty members shall clearly communicate to students, through their courses, whether AI use is permitted in assignments or examinations.
- (5) If AI use is permitted, faculty members shall specify in advance the allowable scope and the method of disclosure (e.g., indicating which parts of a submission used AI).

- (6) When introducing AI-supported learning methods (e.g., summarizing or generating explanatory text), faculty members shall fully explain the relevant provisions of *Section 4: Precautions in the Use of AI*.
- (7) Faculty members shall ensure that the use of AI does not undermine students' autonomous learning, critical thinking, expressive ability, or creativity.
- (8) If a faculty member confirms that a student has used AI contrary to instructions, such use may be treated as an unauthorized act and evaluated accordingly.
- (9) Faculty members shall critically evaluate, in light of course learning objectives, the legitimacy of recognizing AI-assisted work as the student's own learning outcome.
- (10) If AI use makes proper evaluation difficult, faculty members shall consider alternative measures such as in-person confirmation or additional assignments.

3.2 Students' Use of AI in Learning Activities

- (1) Students shall carefully read *Section 4: Precautions in the Use of AI* before using AI.
- (2) In courses where faculty members permit AI use, students who use AI beyond the designated scope or method shall be deemed to have engaged in unauthorized use and may be subject to corresponding evaluation.

4. Precautions in the Use of AI

4.1 Precautions Concerning AI-Generated Content

- (1) Users shall recognize the inherent academic risks associated with AI-generated content:
 - ① Hallucination (*4): AI may produce factual errors or fabricated information.
 - ② Depending on the content of the prompt (*3), the output may include false information or lack quality assurance.
 - ③ Bias (*5) may occur, reflecting particular ideologies or cultural perspectives, thereby compromising objectivity.
- (2) Users shall not engage in "uncritical acceptance (thought cessation)" (*6) of AI-generated content but shall regard the output solely as reference material.
- (3) Users bear responsibility for performing fact-checking (*7) of AI-generated content to ensure its accuracy and reliability.

4.2 Legal Considerations

- (1) Users shall not input personal information (*8) into AI systems.
- (2) Users shall not input highly confidential information into AI systems (e.g., students' grades, health or counseling records, unpublished research data, personnel documents, or confidential agreements with partners).
- (3) Users shall not input information related to privacy (*9).
- (4) Users shall not input another person's copyrighted works (*10) (such as books, papers, or images) without the copyright holder's permission.

- (5) When including others' intellectual property (*11) in information entered AI, Users shall take care not to infringe copyrights (*12) or other intellectual property rights (*13).
- (6) When including educational materials, unpublished documents, or collaborative outputs in AI inputs, Users shall obtain permission from the copyright holders and confirm proper handling standards.
- (7) When including edited, modified, or translated versions of others' works, users shall take care not to infringe moral rights of authors (*14).
- (8) Users shall note that AI-generated content may include third-party copyrighted works, and that using such content without authorization may constitute academic dishonesty (e.g., plagiarism or copyright infringement) and be subject to disciplinary action.
- (9) Users shall recognize that, depending on the purpose of use, AI-generated content may be considered a copyrighted work (*10) with human creative involvement.
- (10) Users shall not use AI for activities that harm others or violate public order and morals.
- (11) Users shall comply with the terms of service and license conditions of the AI service provider.
- (12) Where an opt-out (*15) setting is available, Users shall enable it to prevent their inputs from being used for further AI training.
- (13) Students shall comply with the *Act on the Protection of Personal Information*, the *Copyright Act*, and the *Basic Act on Intellectual Property*.
- (14) Faculty members shall likewise comply with the *Act on the Protection of Personal Information*, the *Copyright Act*, and the *Basic Act on Intellectual Property*, as well as the *Seinan Gakuin Personal Information Protection Regulations* and the *Seinan Gakuin Regulations on the Handling of Specific Personal Information* when using AI.

5. Revision and Dissemination of the Guidelines

- (1) These Guidelines shall be reviewed periodically, considering technological developments and social needs.
- (2) Training sessions and information-sharing opportunities shall be provided to Users to enhance their knowledge and skills in using AI.
- (3) Oversight and management of these Guidelines shall be the responsibility of the Committee for the Management of Academic Affairs.

Glossary

1. **Generative AI:** A general term for artificial intelligence technologies that generate content automatically in response to human input, using models trained on large-scale datasets. Examples include ChatGPT (OpenAI), Claude (Anthropic), Gemini (Google), and Copilot (Microsoft).
2. **Natural language:** Languages that arise naturally and are used in everyday human communication, such as Japanese and English, as opposed to artificial languages like programming or symbolic languages.
3. **Prompt:** The questions or instructions input into an AI system.
4. **Hallucination:** A phenomenon in which AI generates plausible but incorrect or nonexistent information.
5. **Bias:** A distortion or imbalance in AI-generated content resulting from the characteristics or limitations of the data on which the AI was trained.

6. **Uncritical acceptance (Thought cessation):** A state in which users accept AI-generated content without verifying its accuracy, appropriateness, or validity, thereby abandoning their own judgment or reflection.
7. **Fact-checking:** The act of verifying the factual accuracy of statements or text using reliable sources or evidence; especially important because AI outputs may include false or inaccurate information.
8. **Personal information:** Information about a living individual that can identify that individual (e.g., name, date of birth, address, photograph). At this University, information combining a student ID number and a name is treated as personal information.
9. **Privacy:** Information concerning an individual's personal life, such as beliefs, contact details, or medical history, which relates to personal dignity and the right to control one's own personal matters.
10. **Copyrighted work:** A creative expression of thoughts or emotions within the fields of literature, scholarship, art, or music, as defined in Article 2(1) of the *Copyright Act*.
11. **Intellectual property:** Creations of human intellectual activity, including inventions, designs, new plant varieties, copyrighted works, trademarks, and trade secrets, as defined in Article 2(1) of the *Basic Act on Intellectual Property*.
12. **Copyright:** The right to use a copyrighted work, as defined in Article 17 of the *Copyright Act*.
13. **Intellectual property rights:** Rights established or protected under law concerning intellectual property, including patents, utility models, plant breeders' rights, designs, copyrights, and trademarks, as defined in Article 2(2) of the *Basic Act on Intellectual Property*.
14. **Moral rights of authors:** Rights that protect the personal and moral interests of authors in relation to their works, as defined in Article 17 of the *Copyright Act*.
15. **Opt-out:** A feature that prevents user-provided input from being used for AI model training, thereby avoiding unintended reuse of the content in other users' generated outputs.

Date of Enactment and Enforcement : October 21, 2025